

平成29年度 事業計画

はじめに

本市の外国人登録者数は、平成29年1月31日現在、660人（前年同期比45人増）で、国別では、①中国278人（同19人減）、②ベトナム102人（同29人増）、③韓国・朝鮮75人（同増減なし）、④フィリピン44人（同5人増）、⑤インドネシア31人（同7人増）、⑥台湾15人（同2人増）などとなっています。

本市の外国人登録者数は、平成18年の898人をピークに減少傾向を示してきましたが、平成25年以降は600人台前半で微増微減を繰り返す中、昨年あたりから再び増加傾向に転じており、その要因と今後の動向を十分注視していく必要があると考えております。

一方、国では「観光先進国」に向けて各種取り組みが進められる中、訪日外国人旅行者は過去最高記録を更新し続けており、また、在留外国人数も留学や技能実習目的者の増加などにより過去最高となっております。このような中、本市においても食文化をはじめとする様々な資源や特性を生かした海外への施策展開や、インバウンド観光の推進などに取り組んでいるところであり、今後、ますます地域や国、人種を超えての交流が増加すると予想されます。

平成29年度におきましては、こうした状況、動向を踏まえ、今後の担うべき役割、施策等について引き続き検討を進めるとともに、国際感覚豊かな人材の育成や地域住民と外国出身の住民がともに理解し安心して暮らせる多文化共生の地域づくりに向け、「国際交流の促進」、「国際理解の促進」、「多文化共生」を主要な事業項目として、国際交流団体やボランティアをはじめ、多くの住民の方々と連携、協調を図りながら各種事業を実施します。

1. 国際交流促進事業

(1) 交流イベント開催・支援

各国際交流関係団体、ボランティアの方々とともに、国際村を会場にして各種交流イベントを実施する。

○ワールドバザール

国際交流関係団体を中心に実行委員会を立ち上げ、様々な国や地域の料理や雑貨を販売、ステージ発表を行い、地域在住の外国出身者と住民との交流を促進するイベントを実施する。

○出羽庄内国際村音楽祭

普段聴く機会の少ない民族音楽などを紹介するコンサートを開催する。

○新年を祝う会

日本語教室の指導ボランティアと学習者を中心に新年行事を行うことにより、国際村を利用している在住外国人や支援する地域住民、主催各講座の講師や受講者などの交流を図る。

(2) 交流事業の実施

○コロラド州中高生訪問団の受入れ

ホームステイを通して地域内での国際交流を深める。(6月上旬、10日間程度。29年度は9名の受け入れを予定)

2. 国際理解促進事業

(1) 外国語講座の開講

○語学講座

英語、中国語、韓国語、ドイツ語の外国語講座を開講する。それぞれテキスト等による語学習得、外国出身の講師と実際に交流することにより言語、その国や地域への理解を深める。

○フリートーク型講座

英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、日本語のフリートーク型講座を開講する。

○外国語短期講座

普段習う機会の少ない外国語の講座を開講、外国出身の講師と実際に交流することで興味のきっかけを作り、言語、その国や地域への理解を深める。

また、子ども向けの講座を開講、遊びなどを通して国際理解を深める。

○韓国語特別講座

韓国語圏出身の人たちと一緒に様々な活動を行うことで、生活の中で使う生きた韓国語を学び、文化や習慣への理解を深める体験型学習を、新規実施する。

○英語特別講座

英語圏出身の方を講師に迎え、生活の中で使う生きた英語を学び、文化や習慣への理解を深める講座を実施する。

(2) 国際理解講座等の開催

○ワールドコミュニケーションクラブ活動の推進

○せかいの台所 (料理教室)

○太極拳体験講座

○その他国際理解に資する事業の実施

◇フレンドシップサロンの開催

◇中学校・高校・大学の職場実習・研修等の受入れ

(3) 小・中学生向け国際理解講座等開催支援

国際理解、国際交流についての各学校における授業に対して、人材、内容、情報の提供・サポートを行う。

(4) コロラドスタディツアーの実施

○中高生及び社会人のためのスタディツアー

ワールドコミュニケーションクラブ会員をはじめ、地域の中学・高校生から募集した訪問団を山形県と姉妹州であるアメリカ・コロラド州に派遣し、ホームステイ等を通して、地域の青少年の国際感覚の育成、英語実践力の向上、国際理解を深めるため実施する。

また、社会人についても同様の目的で、参加者のニーズを取り入れた内容で実施する。

○英語教育関係者のためのスタディツアー

小学校での英語教育が本格化していることから、小学生等への英語教育に関心のある学校関係者及び教育関係者からなる訪問団をアメリカ・コロラド州に派遣し、英語教育専門機関と連携のもと、ホームステイや地域の学校訪問などを実施する。参加者の英語力、英語指導力向上を図るとともに、国際理解や交流の幅を広げることを目的に実施する。

3. 多文化共生促進事業

(1) 日本語教室運営支援事業

国際村日本語教室の運営支援及び日本語指導ボランティアの研修事業実施への支援を行う。

○日本語教室概要

指導者：日本語指導ボランティア42名（平成29年1月末現在）

学習者：87名（平成29年1月末現在）

出身国：アメリカ、イギリス、インドネシア、ウガンダ、カナダ、韓国、ケニヤ、台湾、中国、ドイツ、バングラデシュ、ベトナム、アフガニスタン、オランダ、カメルーン、シリア、タイ、フィリピン、ボリビア、マレーシア、モザンビーク、ルワンダ<22ヶ国>

会 場：出羽庄内国際村（日・火・水・木・土曜日）

山形大学農学部（冬季）（日・火・土）

その他：教室外活動として、受講生を対象に軽スポーツの活動や、書道教室等を実施する。

○地域行事参加研修事業

庄内地域の祭事や行事に参加し、日本文化を体験する。

（花見、日本料理講習会等）

○日本語スピーチコンテスト実施事業

庄内地域の国際交流関係機関・団体、日本語教室等と連携し、庄内在住の外国出身者による日本語スピーチコンテストを実施する。29年度の会場は庄内町を予定。

○日本食文化体験講座の実施

「器の会」（日本家庭料理教室）

○日本語指導ボランティア研修講座の実施

(2) 生活相談業務実施事業

○国際交流専門員の配置による相談窓口開設

いつでも携帯電話で相談受付（英語・中国語・韓国語・日本語）

○コミュニティ通訳派遣事業

必要に応じて、医療、司法、行政、教育などに関する通訳を「コミュニティ通訳」登録者から派遣し、外国出身者が地域の一員として生活できるよう支援、多文化の共生を目指す。

○コミュニティ通訳ボランティアの養成

通訳の養成と技術向上のため、英語、中国語、韓国語の各グループによる自主勉強会等を継続して行うとともに、全体研修会を実施し翻訳やコミュニティ通訳の専門家らから技術等を学ぶ機会を設ける。生活に関わる内容だけでなく、鶴岡の食文化に関する通訳・翻訳も勉強会の内容として取り入れる。

○公的文書、用務の翻訳及び通訳

○各分野での通訳・翻訳等への協力（観光、商業等）

(3) 情報収集提供事業

○広報「国際村だより」による情報提供

○インターネットホームページによる情報提供

講座やイベントの告知、報告など、最新情報を提供する。

○出羽庄内国際村の多言語案内パンフレットの配布

外国人相談窓口と日本語教室を案内するために作成、日本語を併記した多言語

(英語・中国語・韓国語)案内パンフレットを、鶴岡市役所外国人登録窓口及び国際村窓口で配布する。

○多言語生活ガイドブックの配布

地域在住の外国出身住民向けに作成、生活をするうえで身近にある施設や制度、また、外国出身者として必要な情報を掲載したガイドブック及びマップを、鶴岡市役所外国人登録窓口及び国際村窓口等で配布する。

○外国人に役立つ情報の提供

◇観光ガイド「鶴岡」の多言語(英語・中国語・韓国語)版の提供

鶴岡市観光物産課で作成した観光ガイド「鶴岡」を基本とした情報を翻訳し、ホームページで公開する。

◇各種冊子の多言語化への取り組み

今年までに「私たちの小学校」・「国民年金案内書」を作成している。

◇翻訳対応及び通訳者紹介等の協力

◇鶴岡市観光案内所での外国語対応の協力

観光案内所に訪ねる、または問い合わせる主に英語圏の旅行者の対応について、通訳や翻訳の協力に取り組む。

4. 国際村施設維持管理運営事業

出羽庄内国際村の施設管理運営については、市の指定管理者として、利用者の利便性、サービス等の向上が図られるよう業務を実施する。

新たに受託する施設設備の維持管理については、専門業務を専門業者に委託するなどして、適切な施設設備の維持管理を実施する。

5. 法人管理運営事業

(1) 公益財団法人の運営

新たな法制度に即した会計処理、情報開示、評議員会・理事会の運営等、公益財団法人としての適正な運営に努める。

(2) 賛助会員の拡大

○一般入会による加入

○せかいの台所入会による加入

○各種講座等受講者に対する加入の呼びかけ

※会費等

(年会費) 個人会員 大 人 3,000円/年

高校・大学生 2,000円/年

小・中学生 1,000円/年

法人会員 10,000円/年

(会員特典)

- ・財団広報及び講座等の情報提供
- ・財団主催の語学講座等の受講料1割引